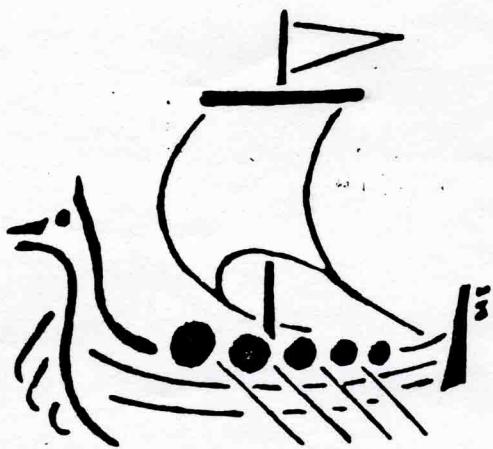


RUNE MAGIC

An ancient way to
initiation and of
harnessing psychic
powers taught by a
European
Rune Master





THE SACRED ORDER
of the
KNIGHTS of RUNES

発行 KNIGHTS OF RUNES

非売品

© 藤原大立 1987

版權所有

ようこそ ルーン騎士団へ！

このテキストは、第一段階のルーン・プラクティスに受け取る18冊のテキストのうちの最初の1冊です。

6冊のテキストと6つの神聖ファザルクの実践の後、ルーンの騎士として、18すべてのルーンを学んだ後に、ファースト・ディグリ一のルーン・マスターとしてイニシエーションをうけます。

「ルーン魔術入門」（カール・ウェルツ著）を読むことは、あなたの理解の助けとなるでしょう。その本には、18の神聖ファザルクの象徴体系の全体像がしるされています。この本は、ルーン騎士団より購入できます。

儀式書

儀式書は、ルーンを実践する上で重要な役割を果たします。事実、現代においては、テープ、コンピューター、印刷物が多くもちいられます。この儀式書のような手書きのものに匹敵するものはありません。このような本を作成することは、単に重要なことを書き記すといったこと以上に多くのものを得ることができます。この本は、あなた自身によって作られた、あなたのための聖なる書となります。作成の過程において本の中にスピリチュアルなパワーがチャージされているからです。

作成にあたっては、できるだけ上等なノートを使用すべきでしょう。

最初にオーディンのルーンの歌とマジカルポエムを、つぎに最初のルーン・ソング、F Aの歌をうつします。その後に儀式次第、祈禱文、瞑想法などを書き込みます。この筆写に要した時間は、後に何倍にもなって報われるでしょう。筆写の際は、オーディンのルーンの歌やマジカルポエムが、他の多くの歌訣同様、象徴的であることに注目してください。（ルーン魔術入門参照）ルーンについて象徴的な言葉で語られるこれらの歌は、ルーンで何ができるのか、ルーンをいかにあつかうかを示しています。学習が進むにつれ、その意味を理解するようになるでしょう。象徴的な言葉が使われる理由は、不注意な試みにより、他人もしくは、自分に危険や恐怖がおよぶのを防ぐためであります。

儀式書への転写

オーディンの歌とマジカル・ポエムは、奥深い神秘が隠され、象徴的な重要性をもっています。これらの歌の作者は、形面上の、もしくは、超越的な領域と物理一心理的な領域の両面をえがくためにこのような言葉をもちいたのです。ルーンの神秘を、また、形面上の真実を解明するにつれ、これらの歌への理解も深まるでしょう。ルーンの歌とマジカル・ポエムの意味は、ルーンについての知識をもたずイニシエーションをうけていないものには、あかされていません。なぜなら、彼らは、ルーンの力を適切に使用することができないからです。象徴

的な言葉は、このように軽率な者がルーンの力を誤用、濫用するのを防ぐだけでなく、段階的に技術を向上させ、段階的に理解を深めるのにも役立っています。

この象徴的な言葉は、誰もが理解できるわけではない科学者の使う専門用語に比することができます。いわばそれは、科学という分野のイニシエーションをうけ、化学薬品、有機体、核エネルギー等を扱うことができるものにのみ理解できるからです。もしかすると危険な化合物を取り扱うことが許されるためには、化学や化学式を学ばなければならぬでしょう。化学式は、化学を学ばないものにとっては、謎の言葉ですが、訓練をうけた化学者には、理解できます。ルーン・ソングも、ルーンを実践しないものにとっては、謎めいており、一見するとあまり意味のないものにみえるでしょう。しかし、訓練をうけた、ルーンの騎士やルーン・マスターには、理解できるのです。ルーンを使用し、ルーン・ソングをプラクティスすることにより、ルーンの実践上の知識が得られ、ルーン領域での実践についての理解も深まり、日常の様々な状況に応用することができるようになるでしょう。

転写方法

儀式書へ筆写する際には、まず環境を調べなければなりません。つまり、静かで外部からの干渉のないところを選ばなければならないということです。この重要なワークを邪魔されないように。写しはじめるとまえに、自分自身を落ち着かせ瞑想状態にはいる、つまり、内部ル

ーン領域におくことが必要です。それから、あなたの注意力を書くことに注ぐのです。あなたの手とペンの先からエネルギーが流れだし、紙に書かれた一語一語にしみこんでいくのを視覚化し、感じてください。どの言葉も靈的な力に満ち、光りを放っていると感じてください。もし、書くことに集中できなくとも過度に心配することはありません。実践は、最高の教師です。くりかえし儀式書を使用することにより、それは、靈的な力でみたされます。指示された通りにすすむにつれ、儀式書は、ルーンの儀式をおこなうときはつねに、創造のルーン領域とあなたとを結ぶ、強力なタリスマントしてはたらきます。自分の儀式書に自分自身でかきこむことは、今のあなたの理解をこえた重要な意味があるのです。

ルーン領域

ルーンを学ぶものにとっては、"ワークを行なう" 場 の形成が極めて重要なものとしてあげられます。通常、私達は、これを3つの領域にわけて考えます。

まず、第一に内部ルーン領域、これは、訓練された視覚化の力により形成されます。第二に、外部ルーン領域、これは、儀式的なセッティングによるもので、多くは、ルーン板により確立されます。最後に、創造のルーン領域、これは、ルーン・エネルギーの源泉であり、この領域から各自の場へとエネルギーを引き降ろすのです。

のことから、各自のルーン領域は、ルーン・エネルギーをひきおろすアンテナにたとえることができます。この最初のテキストの中では、最初のルーン領域、内部ルーン領域が中心に説明されます。この

領域は、ルーン・エネルギーを目的に向かい投射するための基盤であり、このなかで特定の目的のためにエネルギーを調節するのです。

ルーン領域の確立法

1. 18のファザアルク・ルーンに親しむ。特にそのシンボルに。
2. 爪先からはじめ上方へ序々にからだをリラックスさせ、瞑想状態にはいる。
3. 目を閉じ、特定の場に自分がいると考える。つまり、自分がルーンを用いてワークをおこなうのに適した場所にいると見え、視覚化する。

それは、丘の上でも、大きな洞窟でも、浜辺でも、古代の寺院、小さな島など自分がいちばん適していると思うところであればどこでもかまわない。

自分がその中央におり、自分の周囲に魔法円が描かれていると想像します。この場所が聖なる、そして、清浄なる場であることを感じてください。とても平安に満ちた場所です。そして、ここはあなたの場所です。ここあなたは、ルーンを用いてワークをおこなうのです。ここはあなたの世界であり、ここでは、あなたがマスターです。ここから、あなたは、ルーンを投射するのです。あなたがルーンに囲まれてサークルのなかに立ち、目的のためにどのルーンでもひきおろすことができます。そして、このサークルからのぞむところへ投射することができるのです。

ルーンのボディ・ポジションと

ハンド・ポジション

どのルーンも特定の体位（ボディ・ポジション）と印契（ハンド・ポジション）で表現することができます。これらのポジションは、”形の波動”をうみだし、ルーン・エネルギーをひきよせます。実際にこれらのポジションをつくり、体験してみてください。また、ルーン・エネルギーを強化するのにも役立ちます。これらのポジションは、ルーン領域とあなたとをつなぐものなのです。

ルーン・マントラ

ルーン・エネルギーを吸収するもうひとつの原則的な方法にルーン詠唱があります。初学者にとっても、ルーン詠唱によりほとんどすぐにルーン・エネルギーを実感できるでしょう。

ルーン詠唱は、力のあるマントラを唱えることに似ています。ルーンを意識的かつ適切な方法で詠唱すれば、超越した領域とその領域がもつエネルギーにアクセスするためのスイッチを入れたことになります。これらのエネルギーと一度同調してしまえば、あなたの意志で、幸福、健康、霊的洞察、心の平安等の目的のためにエネルギーを吸収することができるのです。ルーン詠唱は、ルーンの神秘への小径におけるあなたの歩みをはやめるでしょう。

ルーンの歌

今回あなたが受け取った、ルーンFAの歌のようなルーンの歌は、ルーンの秘密への小径を歩むための力強い助けとなります。これらの歌は、オーディンの歌やマジカル・ポエムにくらべ説明的ではありませんが、あなたが実践を進めるにつれ次第に明らかになる象徴的な言葉を含んでいます。いいかえれば、これらの歌を日常、唱えることによりルーン・プラクティスの技術は、向上し、直接的には、語られていない洞察を得ることができます。多くの学習者が、これらの歌を日々、あるいは、一日おきにとなえることにより靈的知覚の発達が助長されたと報告しています。

FA の プラクティス

次のプラクティスは、今後実践するどのルーンにも適用できるものです。このプラクティスにより、ルーンFAとコンタクトすることができます。

それは、次のようにおこないます。

最初にリラックスし、瞑想状態にはいります。そして、外部から干渉がないことを確かめます。次に” F F F F F A A A A A A ”とルーンFAのマントラを詠唱し、その間、ルーン文字 FAを強く視覚化します。そして、儀式書を取り出しルーン FAの歌を低くつぶやくような声でとなえます。となえている間、自分は、ルーンFAの力に満たされた内部ルーン領域にいると想像してください。あなたのルーン領域のなかにFAのシンボルを見てください。そして、ますます多くのFAのエネルギーが、流れ込んでくるのを感じてください。そこで、立ち上がりFAのボディ・ポジションをつくってください。つき

にマントラ詠唱。自分の身体のなかにFAのエネルギーをひきいれてください。周囲が、FAの力で満たされると感じてください。自分のなかにFAのエネルギーが流れ込んでくるのを感じてください。ここで、目を閉じ、2、3分間ルーンを体験してください。思考や感情がおこってくるのを、内面の目にビジョンが写しだされるのを、サウンドが聞こえてくるのを待っていてください。特別な体験をしても、それにこだわる必要はありません。より多くのことを体験するでしょう。また、期待していたほどのことがおこらなくても、心配する必要はありません。日々プラクティスをおこなうことにより、どこで強烈な体験を得るかわかるでしょう。瞑想の1~2分後に、あなたをとりまくFAの力が、土中についこまれ、創造の領域にもどっていくのを視覚化してください。内部ルーン領域においても同様のことをおこなってください。これは、あなたのルーン領域と周囲の物理的空間が過充電されるのを防ぐためのものです。

このプラクティスにより、ルーン領域とユニバースに対する理解が深まり、ルーンをもちいるワークの技術も向上するでしょう。

今回のエクササイズ

1. 儀式書の作成
2. 一日一回、FAの歌の詠唱
3. FAのプラクティスの実践
4. 内部ルーン領域の確立
5. プログレス・レポートの提出

次回のテキストは、UR、ヒーリング、ヒーリング・エネルギーの伝達をあつかいます。

オーディンのルーンの歌

私は知っている、私自身が風吹きすさぶ樹に
凍てつく九夜の間、吊り下がっていたことを、
槍に傷つき、ウォーダンへの捧げものとして
つまり、私を私自身へいにえとしてささげたことを。
私は吊り下がっていた、人をかくし、
その根より人をうみだした、世界樹に。

パンもワインも恵まれず、
私は下をうかがった。
私はルーンをみとめ、うめきつつそれらを掴み
樹からおちた。

そして、わたしは、向上し賢くなりはじめた、
成長し申し分なく思われはじめた。
言葉から言葉がうまれ、
はたらきからははたらきがうまれた。

いま、私は魔女と人の子が誰一人として知らぬ歌を知っている。
おお人の子よ、それらの歌こそ、
終わりなき時の中でわすれられたもの。
それらを知ったなら、それらをつかめ、
それらを聞き知ったならば、それらをつかえ。
それらを保つものに祝福あれ！

マジカル・ポエム

F A

私は、魔女と人間の子が 誰一人知らぬ歌を知っている
その最初の歌は、救いというもので
苦悩、悲しみ、そして、あらゆる苦しみから
汝を救うだろう。

UR

私が知る第二の歌、癒しの手をおこなう
人の子にたいそう役立つもの、
それは、病とあらゆるいたみをのぞき、
あらゆる傷を癒す。

THORN

私が知る第三の歌、もしも危機せまり、
魔術をもって敵を防がねばならないとき、
私は敵の銅を鈍くする、
かれらの長剣がもう切れぬように。

O S

私が知る第四の歌、もしも敵が
私の柔軟な関節を縛り上げたならば、
私は、呪文をとなえ、
足枷、手枷は、壊れるだろう。

R I T

これは私が第五の歌として知っている歌、

もしも敵陣において、矢が軍勢に向かい放たれたならば、
それがいかに勢いよくとも、私はいちべつでもって
しっかりと捕らえ、その力を妨げる。

KA

六番目の歌は、わたしのもの。もしも兵士が
やわらかな木の根で私を傷つけるならば
この兵士は、私の中の憎しみを目覚めさせ、
私を傷つける前に不幸にみまわれるだろう

HAGAL

私が知る第七の歌、もしも、館がそこにいるすべての人々をこえて、
高く燃え上がったならば、
館がいかに燃えようとも、すべての人を私は救う
私はそれをなじえる魔術を知っている

NOD

八番目の歌は、わたしのもの。これを聞くは、
危険と困難の中にあるすべての人に対し有益なもの。
もしも人の間に憎しみが生じたならば
私はすみやかにそれを鎮める

IS

私が知る第九の歌、もしも海で危機が生ずれば
私の愛船を守るために
荒海を吹く風に魔法をかけ
海をおだやかにする

AR

私が知る第十番目の歌、よからぬことをたくらむ魔女たちが
空中たかく飛行する時、私は彼女らをおおうものからひきはなし
家へもどらせることができる、もとのところへもどらせ、
とほうにくれさせることができる

SIG

これは私が第十一番目として知っている歌、
私が友人や愛する者を戦いにつれていくとき、
私は彼の盾に向かい歌う、さすれば戦いに勝利し、
どこでも運がついてまわる

TYR

私が知る第十二番目の歌、もし私が
木の上につるされ、風にゆれている人をみれば、
私はルーンを彫り色をつける、
そうすればその兵士は木から降り話しをすることができる

BAR

私が示す第十三番目の歌、もしも私が聖水を
幼い男子にふりかけ淨めれば
敵にあっても屈することなく
刃も彼を刺し殺すことはない

LAF

第十四番目の歌、これは集える人にむかい、

私が神々の名をあげるときに歌うもの。

なぜなら、私同様誰一人、

すべてのアールブたちとアースたちの性格を知る者はいないから。

MAN

私が15番目と数える歌、ドワーフのショーズレーリルが
デッリングの扉のかたわらで歌ったもの、

アースたちには強さを、アールブたちには力を、
そして、私には感覚の鋭敏さを。

Y R

私が知る第十六番目の歌、もしも、私が賢い娘から
愛のよろこびを得たいと熱望すれば、

私は、彼女の意思を変え、

彼女の感情をがらりと転じせしめる。

E H

私が知る第十七番目の歌、偉大な法則を通し愛にいたり
双方がのぞみ、

生活をともにすれば、

それ以後、誰一人簡単に引き裂くことはない

G I B O R

私が学んだ第十八番目の歌、私はこれを他の誰にも知らせぬだろう、
ひとりで知っているのがいちばんよい、

これで歌は終わる

私の唯一の愛する者として腕のなかにいるもののみがこれを知る。

ルーン FA の 歌

FA- 今日は、私は、自己のイニシアティブを強化する。

FA- 私は、魔女と人間の息子が 誰一人知らぬ歌を知っている

その最初の歌は、救いというもので

苦悩、悲しみ、そして、ありとあらゆる苦しみから

汝を救うだろう。

FA- 今日から私は、新たな生活を始める。今日から私は、ルーンの力により、私自身と他の人々を救うことを始める。

FA- 長きにわたり、失敗と失望に苦しみ、助けなく自然界の要素にさらされ、見えぬ運命にもてあそばれてきた、私の古きエゴは今日、FAの浄化の炎によりやきつくされる。

FA- 今日、私は、新しく生まれかわる。不死鳥フェニックスが自分の灰の中から蘇るように私の新しいエゴもうまれる。今、私は自分の人生、そして、運命を支配する準備がととのい、よろこんで、それを行なおうとし、また、それを行なうにふさわしい者である。

FA- はじまりのルーン！汝は、ルーン魔術の無限の力の習得への道のはじまりをしめす。

FA- 今日、私は、創造のワークショップへの扉を開く。今日、運命を形づくり、再創造することができる、深いレベルへの扉を開く。もはや私は、人生において失敗も、苦しみも、病気も、さびしさも、悪意も、そして他のいかなる不幸もあじわうことはない。今日、不死鳥フェニックスのように、わたしは、古きエゴ

ゴの灰の上に立ち、はるかな高処へと飛翔する。かつては夢みることすらなかった高処へと。

F A - 私は、古きエゴの灰の中より再生し、そして、知る、私の魔力が、日毎に増しゆくのを、ルーンに対する理解が、ふかまりゆくのを、そして、ルーンの力により真にのぞむように運命に変化がもたらされるのを。というのも、私は、創造の領域よりルーンの英知を得る用意がととのっており、それを得ることをよろこび、それを得るにふさわしい者だからである。私は、すんで、この英知を私の人生の道とする。

F A - 今日、私は、努力の中において一人では、ないことに気づいている。偉大にして永遠なるルーン・マスターの同胞にうけいれられ、その靈的バイブルーションが私に同調している。

F A - 今日、私は、気付いている、今このときより私の知的面、精神面、感情面、物質面におけるあらゆる努力が、ルーン騎士団の援助をうけるであろうことに。

F A - 私は、今、ルーンの神秘なる領域への旅のはじまりにいる。一つ一つのルーンに親しみ、ルーンのエネルギーを巧みに使うことを学ぶだろう。私は、騎士団の栄誉ある一員となり、一年以内には、ルーン・マスターとなるだろう。使用をまかされた創造の道具を神への献身のために用い、自己の運命の支配者となるつもりである。

F A - F A の純粹な炎により、私は浄化され、過去において自ら課した制限や束縛にとらわれることなく我が道をすすむことができる。

F A - F A は、”救い”を意味する。騎士団からの救い。私への救い

これは、FAが古き傷、悲しみ、不幸から解きはなち、新しく幸福で満ちた生活へと導いてくれることである。また、救われる態勢ができ、喜んでそれを受け入れ、それをうけるにふさわしい人への救いをあらわす。

FA-ルーンが語ることを私は理解しはじめた。それは、言葉を超えた、より深いレベルへの到達である。そのレベルから無限のルーン・エネルギーの恩恵をうけ、私の世界に創造的に作用させることを学ぶだろう。

FA-神聖ルーン騎士団の一員として厳粛に誓う、私は、宝石のようにルーンの秘密を守り、その秘密をうけるにあたいせず、その用意なきものにもらさぬことを。ルーンとともに、プラクティスのはじまりにあたり、宣言する。このときより、いかなるものも私の新たな人生の発展を妨げることはできないと。私は、約束する。一日に一度、ルーンの歌をひとつ詠唱することを。この詠唱により、ルーンに対する理解は深まる。そのうえ、ルーン自体が私にコミュニケーションしてくる。そして、ルーンの魔力は、私に同調するだろう。詠唱中には、言葉にも、言葉の意味にも焦点をあわせず、頭で意味を把握しようともせずに、語られることなきより深い意味と内容に集中する。神聖ファザルク18すべてのルーンを学んでしまうまで、日々詠唱を行ないルーンそれぞれにつき、18日間つづける。この詠唱により永遠の創造の領域への道が、ひらかれるだろう。その結果、容易にルーンの力を利用することが可能になるだろう。その日のために他の日をあてることはできないから、一日もかかることはないだろう。ルーンを用いる日々の習慣を破ってはならないし

また、破ることはないだろう。このあたらしい習慣に日々2,3分の時を費やすことは、わずかなことであっても、それにより、幸福、好運、精神的成长が、もたらされるだろう。詠唱をくりかえすことにより、宇宙の創造的な領域とよりよく同調できる。

FAーあらゆるもののは父、世界の父神、世界の永遠の創造者のルーン
彼は、始まりから限りなく創造している。

FAー自己の運命と他者の運命を変革できる場所、創造の領域への門を開く、はじまりのルーン

FAーわたしは、私の世界と宇宙を創造しはじめている。

FAースピリットの中の創造のルーン

FAー日毎に私のルーンの隠された意味に対する理解は深まる。FAを通し、私は学ぶ。自分が、宇宙における創造的な可能性で、あることを。動き創造するスパークであることを。自ら運命を造るものであることを。そして、我が天なる父、万物の創造者の子であることを。

FAー私は、創造の始まりの神聖な炎を体験する。

FAー今日、私は、新たな人生を歩み始める。

ルーンのアクセス・キーワード、 意味、照応

FA

根源の火、コスモス、ユニバースのルーン。愛の中で創造的にはたらく火を象徴している。その煌めきは、物質的次元にまで顕現する。FAは、サラマンドラを支配する。変化、フェニックス、靈的創造の象徴。FAS (f a t u m ラテン語の運命を表す語) - f a t e - 神の法。運動性-富-フレイ (F R E Y R)。ルーンKAと関連。

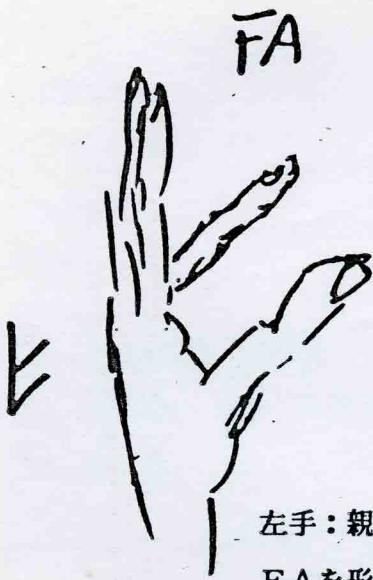
用法：ソーラー・エネルギー、ルナー・エネルギー、プラネタリー・エネルギー、恒星のエネルギーの吸引、吸収。個人の磁気力、エーテル次元における電気的な流れの強化。スピリチュアル・パワーの強化。サイキック・ヒーリングのはじめに用いるのに有効。エネルギー伝達のルーン。根源の火をあきらかにする。

時期：12月22日～1月12日

Number : 1

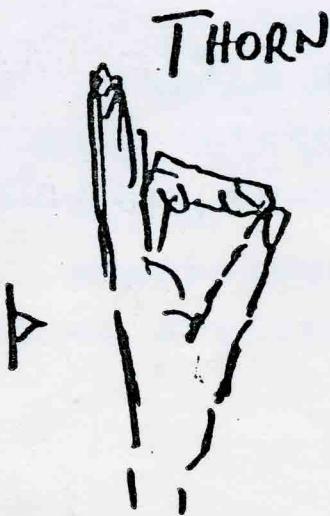
タロットとの関連： I 魔術師

マントラ： f f f f f f a a a a a a (火もしくは、あかるい赤色と炎のように輝くFAを視覚化)

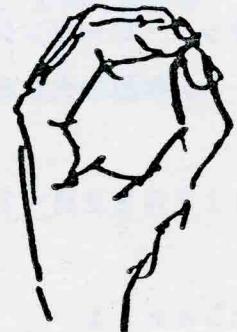


左手：親指と薬指で

FAを形づくる



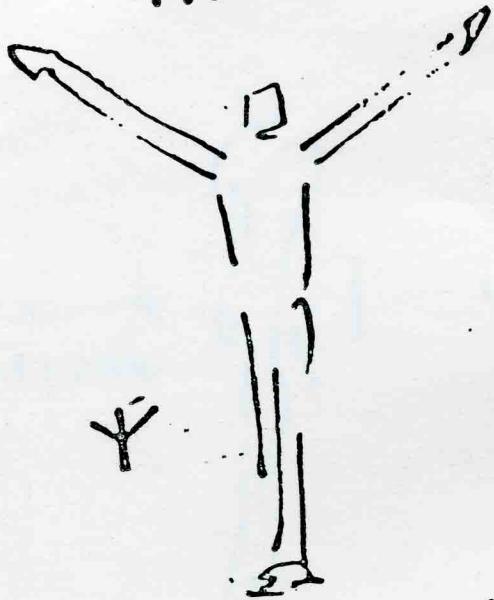
OS



左手：親指と薬指で

THORNを形づくる

MAN



FA



左手を右手より
若干高くする

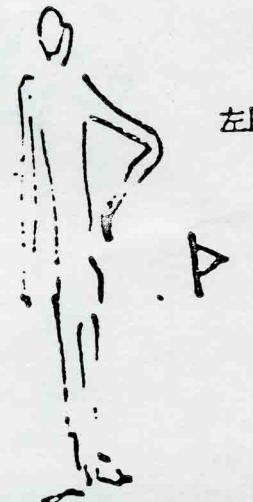
HANTRA: "HAAAANN"

UR



"URUR"

THORN



左腕

"TH-TH-DOOR"

14



15



吸引

アースする

(過剰なエネルギーを逃す)

 FA
(to help)

 AR
(to reframe)

 HR
(to heal)

 SJW
(to win)

 THORER
(to project)

 TD'R
(to sacrifice)

 OS
(to accept)

 BAR
(to rest)

 RET
(ceremonial)

 LAJF
(cosmic law)

 FA
(capability)

 MAJ
(spirituality)

 HAGAL
(universe)

 DR
(roots)

 KOHO
(karma)

 EL
(cosmic union)

 IS
(true Ego)

 GIBOR
(Self, Oneness)